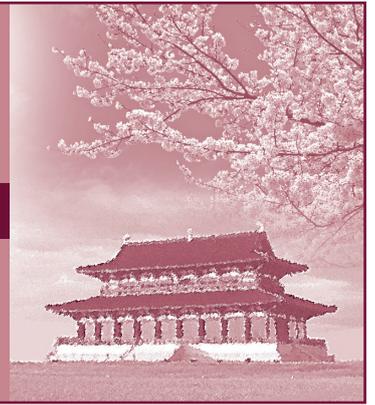


奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

平成28年1月 第20号



謹賀新年



平成 28 年 年頭のごあいさつ



奈良県知事
荒井 正吾

新年明けましておめでとうございます。
一般社団法人奈良経済産業協会の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から奈良県政の推進に格別なるご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の知事選挙におきまして、これまでの県政運営にご評価をいただき、引き続き県政推進の重責を担わせていただくことになりました。

本年も、平成 27 年 12 月に策定いたしました奈良県地方創生総合戦略により、「住んで良し」、「働いて良し」、「訪れて良し」の奈良県を目指し、市町村との連携による「奈良モデル」を推進しながら、本県独自の地方創生の実現に取り組んでまいりたいと思います。

本県経済を活性化させるためには、出稼ぎ県とも言える本県の体質を、内発的経済力が発生する県へと変える必要があります。

そのために、より一層企業誘致を推進するとともに、県内企業の振興を図るほか、経済構造そのものを力強いものに改革する取組を進めてまいります。

まず、経済構造そのものを力強いものに改革するため、9つの産業分野にターゲットを絞った「産業興し」の取組を引き続き強力に進めてまいります。

これは9つの産業分野が奈良県の産業全体に占める割合は、従業者数で約6割、売上で約4割にのぼり、この産業群を対象に、企業の体質を力強いものに変えていく、という取組です。

本県企業の大勢を占める中小企業には、グローバルニッチトップといえる企業や、地域密着型で地元顧客を中心に商売をされている企業がありますが、

それぞれに応じた経営体質の強化が必要だと考えています。

まず、さらなる高みを目指して飛躍しようとする中小企業には、「海外への進出」、「新事業の展開」、「高付加価値の獲得」、という三つの切り口で、企業価値が高まるよう支援していきたいと考えています。

次に地域密着型の中小企業には、OEM、下請けから脱却し、自社ブランドで勝負する企業に転換していただくことが大切だと考えおり、ブランド力を強化し、高い付加価値を獲得していただくことを基本に支援していきたいと考えています。

今後とも企業誘致と、産業興しの取組を強力に進めることにより、奈良に根を張って、奈良で利益を生み出す、力強く魅力ある企業を増加させ、県内で投資が活発化する奈良県経済の実現を目指してまいります。

次に、企業誘致では、平成 27 年から平成 30 年までの 4 年間で 100 件の県内立地と、それに伴う 1,000 人の雇用の創出を目指し、積極的な誘致活動を展開するとともに、京奈和自動車道の周辺地域における工業ゾーン予定地の調査・抽出や、産業集積地の形成等、企業が立地しやすい環境整備にも取り組んでまいります。

また、雇用面では、「県内就労あっせん・企業支援センター」において、大手企業で経験を積み、経営ノウハウや高度な技術を身に付けた人材と県内中小企業のマッチングを引き続き進めてまいります。

これからも、県民の皆様のご意見やご提案に十分に耳を傾け、力を合わせてより良き未来を築いていきたいと考えています。

特に本県を代表する企業の集まりである貴会には、新たな事業機会の創出に挑戦いただくなど、地域の知恵・技術の牽引役として、更なるご活躍を期待申し上げますとともに、今後とも県政へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって明るく希望に満ちた年となりますとともに、ご健勝でご活躍いただきますことを心から祈念申し上げます、挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



一般社団法人奈良経済産業協会
会長 佐藤 進

新年あけましておめでとうございます。

本年が皆様方にとりまして、より良い一年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

さて、景気は回復基調ながら、好業績は大企業や一部の業種にとどまり、多くの中小企業には十分に恩恵は及んでいない状況に変化はありません。

消費増税による消費の落ち込みは、予想以上に長く厳しく、円安による良い影響と共に悪い影響が幅広くあり、消費も伸びていないのが現状です。

真に景気が本格化する前に、欧州のテロ・政治問題の影響や、中国の景気減速が鮮明になっている等、今年の経済は大変心配されるところです。

企業経営は、景気・為替等といった外部要因に左右される面が強くなります。これら外部要因に左右されることで、上手くいかない理由をどうしても外に求めてしまいがちになります。実際に、一企業ではどうしようもないことが沢山あります。

では、どうすれば良いのでしょうか。外部要因から起こる様々な課題を、内部で一つずつ克服し吸収していくしか方法はありません。

外部要因はどうにもなりません、内部要因は「努力と工夫」で、なんとか克服していけます。言い訳は出来ません。逆に、政府・行政には、企業では及ばない部分を、しっかりと支援・協力して頂きたいと、強くお願いするところです。

様々な課題を克服していくには、製品・サービスの品質向上、コスト・ムダの削減、顧客満足の上向等といった改善の活動が不可欠です。

これら活動の視点は業種・業態に関係なく、厳しい環境を乗り越えていく唯一無二の方法であり、競争力の源泉であって企業を強くしてくれます。

しかし、一朝一夕にはできません。近道もありません。着実に一歩ずつ、先を見据えて、全員で、手を抜かずに取り組んで行くしかないと考えます。

その課題を克服していくには、企業・組織の風土づくりと人材の育成が不可欠です。職場のコミュニケーションが円滑で、建設的に意見が言え、そして、失敗を恐れずにチャレンジしていける職場環境を醸成していくことが重要です。

そして、最も大事なことは仕事に対して、真摯に向き合うことだと考えます。

あるメーカーの社長の話です。他の競合と比べても比較的よい条件で取引頂いているお客様に、ある時“どうして当社をご愛顧頂けるのですか？”と率直に尋ねられたそうです。その社長が曰く、品質・技術に自信があり、それが一番の理由だと思っていたそうです。しかし、返ってきた応えは、“御社を信用しているからです”とのこと。

「信用して頂ける」源は、間違いのない品質、しつかりとした現場、相手を思う営業、自分だけがと思わない（三方よし）経営、これらは相手を思う心であり、それが信用を生み育て、評価されるものだと思います。

会社には、信用という目に見えない大事な財産（資本）があります。しかし昨年、東洋ゴム工業・旭化成建材・東芝・VW等と言った大企業が、永年培った信用をなくす不祥事を起こしました。一度失った信用はなかなか戻りません。今一度しっかりと皆様と確認し合い、顧客・地域・社会にとって、信用・信頼され、お役に立てる企業であるように、共に頑張るって参りたいと思います。

奈良経済産業協会では、「ものづくり&人づくりの育成」「経営・労務問題の深化」という二本柱を中心に事業を展開しております。

“企業は人なり”と言われるように、人材の育成・活用抜きにして、企業の発展はありません。

性別・年齢・立場によらず、幅広い視野に立って、意欲高く能力を発揮できる人材育成や職場づくりと共に、顧客満足を上向きさせて企業価値を高めていく基盤強化の支援へと、会員企業のお役に立てるような事業展開を進めて参ります。

本年も、微力ながら奈良県産業の振興・発展に誠心誠意取り組んで参りますので、皆様のご協力、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

経営者懇話会（第3回）

人材育成委員会主催（H27.11.6）



深喜毛織(株)
取締役総務部長
藤井正人氏

経営者懇話会第3回目は、大阪府泉大津市にあります、カシミヤの原毛の染色、紡績から完成品までの製造販売を行っている毛織物メーカーの深喜毛織(株)様を訪問致しました。

当日は、取締役総務部長 藤井正人様より、企業概要と事業展開等のお話を伺いました。

「当社は明治20年創業で本年で128年になる。繊維産業が隆盛の時期でも他の事業に手を広げることなく、一つの事業に専念してきたことで、現在も国内にこだわった高品質な製品づくりに特化している。古い機械を大切に使いながらも生産性・技術力向上のために最新の機械設備の導入、職人技術の伝承、多能工への人材育成を行っている。日本製のカシミヤ製品は高価であるが、お客様に満足して頂き、長く愛用される製品づくりを今後も頑張っていきたい。」とお話頂きました。

資料室の見学では、創業当時から現在に至るまでの生地サンプルが丁寧にファイル保存されており、当時のデザインや流行がわかる貴重な資料を拝見しました。また、同社使用のカシミヤは、毛質は細く柔らかで保湿性と保温性に優れた中国内モンゴル自治区産のカシミヤの産毛を原料として、1頭で150g（セーター1着は4頭分）しか摂れない希少な素材であるとお説明頂きました。

紡績工場では、原毛から糸に加工するまでの工程を拝見し、特に、糸に撚りをかける工程では、10m以上の長さのミュール精紡機が糸を引きながら後方に移動し、撚りをかけて巻き取りながら元の位置に戻る様子が参加者の目を惹きました。

日本の産業の発展を担った繊維業界の歴史と日本の技術力をあらためて感じる事ができた有意義な時間となりました。



パワードスーツ利活用セミナー

モノづくり委員会主催（H27.12.3）



アクティブリンク(株)
代表取締役
藤本弘道氏

重量物の移動や作業者の負担軽減・生産性の向上に向けて、現在多くの業種の現場で大変注目されています「パワードスーツ」について、「パワードスーツ利活用セミナー」を開催しました。

「パワードスーツ」とは、人体に“装着する”補助装置で、重量物の移動・搬送という負担が大きい作業を、物理的に“補助・アシスト”するもので「パワーアシストスーツ」とも呼ばれています。

講師は、会員企業のアクティブリンク(株)代表取締役の藤本弘道氏にご解説頂きました。

同社は、松下電器産業(株)（当時・現パナソニック(株)）の社内ベンチャー制度で設立され、パワーアシスト製品開発や受託開発等の事業を展開されています。

パワードスーツの現状と共に、同社の開発経緯や「AWN（あうん）-03」の特徴について、同機のデモンストレーションを交え、ご解説頂きました。

同機は腰部負担の軽減に特化し、重量を約7kgまで軽量化したモデルであり、他社製品よりも多機能で、アシスト・保持・歩行・ブレーキの各モードを、使用者の動きに追従して自動切替が行われ、意識せずに利用できる工夫がされています。

重量物による負荷自体は変わりませんが、アシストにより約15kgの腰への負担が軽減されます。

今回は特別に、参加者の方に実際に装着して重量物を持ち上げる体験をして頂きました。

アシスト無しでは持ち上げが困難なモノが、楽に簡単に持ち上がることに皆さん驚かれ、同機のアシストの威力とともに、パワードスーツの持つ負荷軽減の効果を体感されました。

生産性向上への効果も大切な要素ではありますが、腰への負担軽減による働きやすい職場づくりへ繋げることができる大変有意義な研修となりました。



ストレスチェックセミナー

人材育成委員会主催 (H27.11.16)



(株)ホリスティックコミュニケーション

代表取締役

豊田直子 氏

近年の“心の健康問題”による休職・離職者の増加に伴うメンタルヘルスケアの一次予防対策として、12月よりスタートしました「ストレスチェック義務化」へ、実際の運営等の実務に役立てて頂くためのセミナーを開催しました。

講師は、臨床心理士で、企業のメンタルヘルス指導を手掛ける(株)ホリスティックコミュニケーション代表取締役の豊田直子様にお願しました。

講義では、ストレスチェック制度に関する概要と共に、実施の準備や、実施方法、また実施後の評価などの一連の流れを「やらなければならないこと」「やった方がいいこと」「やってはいけないこと」の観点ごとに、解り易く系統立ててご説明いただきました。

特に、制度の目的・運用に関する社内規定の見直しや、考課に関わる者(社内の役職等に関係なく)には、検査実施事務に従事することは禁止されているなど、最も気になる部分を実践的にご指導いただきました。

また、ストレスチェック制度は、メンタルヘルス不調の未然防止だけでなく、従業員のストレス改善が働きやすい職場づくりに役立ち、生産性の向上にも繋がり、企業経営にとって目に見えない大きな効果が生まれることを解説いただきました。

講義のセクションごとに、参加者同士による意見交換や質疑応答の時間を取って頂き、一方通行での解説だけでなく、課題ごとに自社を見つめ直して考えることができ、大変理解が深まりました。

参加者の皆様からも、各事業場での状況を踏まえた実務的な質問が多数あり、非常に有意義な時間となりました。



省エネ・省コストセミナー

総務委員会主催 (H27.11.26)



奈良県電力利用
合理化委員会 幹事
関西電力(株) 奈良営業部
エンジニアリンググループリーダー
中谷真幸 氏

エネルギー環境が厳しくなる中、省エネ・省コストを行い、費用を低減し利益を確保するべく、会員の関西電力(株)と奈良県電力利用合理化委員会様のご協力を得て「省エネ・省コストセミナー」を開催しました。

公的な省エネ推進体である奈良県電力合理化委員会幹事で関西電力(株)奈良営業部の中谷真幸様から省エネ・省コストの考え方と取組方について、簡易に取り組める対策から、設備毎の踏み込んだ対策まで、幅広くご説明頂きました。

今回は、電気・燃料等のエネルギー情報の「見える化&原単位管理ツール」をご紹介頂きました。エネルギー使用量を入力することで使用量の推移がグラフ化で「見える化」されると共に、生産個数・延床面積・来場人数等の変数毎に相関関係や原単位化されたデータの推移が確認できます。

これにより、傾向がつかめ、最適な原単位を見つけ出すことで、改善が進める事が出来るなど、ツールの使用方法や特徴をご指導頂きました。

また、省エネの改善事例として、同型の印刷機でも、印刷機により大きく電力量に差があることから、見える化して分かってきた生産枚数と電力量から生産原単位数を算出して、エネルギー効率の向上に取り組んだ事例をご解説頂きました。

電力量が多い印刷機では、印刷物の種類が他にも多く、段取り替えをする際に、温まっていた機械が冷えてしまい、再び温めるために多くのエネルギーを使用していたことが分かり、生産管理を工夫することで電力使用量を改善した事例です。

省エネの推進には、常に問題意識を持って情報を収集し、一步ずつ着実に、継続的に取り組む重要性がよく理解でき、大変参考になりました。



会員様のお喜び 秋の褒章受章おめでとうございます！

平成 27 年秋の褒章受章者が発表され、当会会員企業の株式会社ゴセケン 代表取締役 西本登美雄 様が黄綬褒章を受章されました。

会員ともどもお祝い申し上げます。

*黄綬褒章は、業務に精励し、他の人の模範となるような技術や事績を有する方を対象に授与されます。



黄綬褒章受章

株式会社ゴセケン
代表取締役 西本登美雄 氏

職場改善活動研修会（基礎編）

モノづくり委員会主催 (H27.12.10)



QCサークル近畿支部
大阪・近畿南地区
アドバイザー
北野邦弘 氏

現場力を高める手段として、職場改善活動（サークル活動等）は大変有効且つ重要です。

職場改善活動を進める上で、基本となる考え方や具体的な活動の進め方、基礎的なQC手法について学ぶべく、「職場改善活動研修会（基礎編）」を開催致しました。

この講座は、夏に開催の「活用編」と併せて、「より実践的な活動」に向けた一連の講座です。

講師には、改善事例発表会でご指導いただいておりますQCサークル近畿支部 大阪・近畿南地区アドバイザーの北野邦弘氏にお願いしました。

研修内容は、品質管理の基本的な内容と共に、①QC的なモノの見方・考え方、②小集団による職場改善を進める上での勘所、③具体的な職場改善活動への取り組み方、④問題解決と課題達成の手順、⑤改善活動によるQC手法やデータの取り方など、事例を交えて分かり易く説明いただきました。

特に、「現場の良い点・問題点」について、チェックシートを用いて分析し、課題を明らかにしながら、改善の入口となる現状把握を行う上での有効な手法をご指導いただきました。

グループ演習では、問題解決の考え方や手順、QC手法の使い方を具体的に理解するため、昔懐かしい「だるま落とし」を例に、“だるま落としがうまくできない”という特性について、「人・材料・方法・環境」の各観点から“うまくいかない要因”を探し、うまくいくようにする対策の立案・実施、効果の確認など、一連の流れを学びました。

演習を通じ、実際の現場での課題解決の流れを体験しながら、手法の意味と活用方法を理解することができ、大変有意義な時間となりました。



事務局だより

新入会員様ご紹介

引原司法書士事務所

【企業概要】

設立：昭和48年7月

代表者：所長

引原 陽一郎

所在地：〒630-0252

奈良県生駒市山崎町5番2号

T E L : 0743-74-3751

F A X : 0743-75-3712

従業員：4名

事業内容：司法書士

近鉄東生駒駅前で司法書士事務所を開業しております。

不動産の売買、相続、贈与等及び会社・法人の設立、増資、役員変更等の登記業務を中心に会社経営の承継や新規起業にも総合的に対応できるよう、依頼される方の立場に立って業務を行っております。



岸瓦店

【企業概要】

設立：平成15年1月

代表者：代表

岸 大樹

所在地：〒639-1001

大和郡山市九条町167-10

T E L : 0743-55-1844

F A X : 0743-55-1844

従業員：5名

事業内容：瓦葺業

一般住宅、社寺などの瓦葺工事業を個人事業として営んでいます。

新築工事から既存瓦の葺き替え修繕、さらには太陽光発電システムの取付け工事、耐風・耐震工事まで豊富な経験と知識・技術を持った職人が安全に施工いたします。

顧客は地元奈良の工務店と個人のお客様がほとんどです。

これからも、地元に貢献できるように努力していきたいと思っております。



トキワスタジオ

【企業概要】

設立：1915年（大正4年）

代表者：代表

鈴木 健嗣

所在地：〒639-1137

大和郡山市東岡町30

T E L : 0743-52-2530

F A X : 0743-52-0481

U R L : <http://www.tokiwa-studio.jp>

従業員：5名

事業内容：写真業

スタジオ記念撮影、ブライダル出張撮影、商品撮影、卒業アルバム作製、宮参りや七五三、成人式など、記念撮影を行っております。

その他、建物の撮影や商品撮影、スチール撮影全般、どのような撮影にも対応いたします。

学校の卒業アルバムの製作も行っておりますので、デザイン関係にまつわる業務も請負います。

ブライダル等、冠婚葬祭にまつわる撮影も行います。



コスト削減研修会

徹底したムダ取りによるコストダウン、生産方式見直しによるコストダウン等の考え方・手法について幅広く体系的に学んでまいります。多数ご参加をお待ち致しております。

と き：全3回 9:30～16:30

①1月28日(木)・②2月18日(木)

③3月8日(火)

ところ：奈良県産業振興総合センター

参加費：全講座受講 29,160円/人

1テーマ毎受講 10,800円/人

(消費税・昼食・テキスト代等含)

テーマ毎の参加者変更が可能です。

申込み：事務局までお申し込み下さい。

謹 賀 新 年

佐藤薬品工業株式会社

代表取締役社長 佐 藤 進

〒634-8567 橿原市観音寺町9-2
TEL(0744) 28 -0021

株式会社イムラ封筒

取締役会長 井 村 守 宏

〒540-0026 大阪府中央区本町二丁目1番13号
TEL(06)6910-2511

関西電力株式会社 奈良支社

執行役員支社長 小 槻 百 典

〒630-8548 奈良市大森町48番地
TEL(0742) 27 -8916

株式会社きんでん 奈良支店

執行役員支店長 西 村 博

〒630-8133 奈良市大安寺6丁目20番8号
TEL(0742) 62-8771

三和澱粉工業株式会社

代表取締役会長 森 本 俊 一

〒634-8585 橿原市雲梯町594
TEL(0744) 22 -5531

大和ハウス工業株式会社

奈良工場長 中 尾 真 也

〒630-8453 奈良市西九条町4丁目2-2
TEL(0742) 64-1500

奈良交通株式会社

代表取締役社長 谷 口 宗 男

〒630-8651 奈良市大宮町1丁目1番25号
TEL(0742) 20- 3116

株式会社南都銀行

取締役頭取 橋 本 隆 史

〒630-8677 奈良市橋本町16番地
TEL(0742) 22-1131

三笠産業株式会社

代表取締役 林 田 壽 昭

〒635-0817 北葛城郡広陵町大字寺戸53
TEL(0745) 56 -5581

以上、9社に協賛広告としてご協力頂きました。

奈良経済産業協会NEWS 第20号

平成28年1月発行
一般社団法人 奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内
TEL(0742) 36-7370 FAX(0742) 36-7371
<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail : info@nara-eia.or.jp